

令和4年第2回坂町議会臨時会

会 議 録

1. 招 集 年 月 日 令和4年1月21日（金）

2. 招 集 の 場 所 坂町議会議場

3. 開 会（開 議） 令和4年1月21日（金）

~~~~~○~~~~~

4. 出席議員（12名）

|                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1番 向 田 清 一 君   | 2番 安 竹 正 君        |
| 3番 光 岡 美 里 君   | 4番 主 枝 幸 子 君      |
| 5番 奥 村 富 士 雄 君 | 6番 柚 木 喬 君        |
| 7番 出 下 孝 君     | 8番 瀧 野 純 敏 君      |
| 9番 大 田 直 樹 君   | 10番 中 雅 洋 君       |
| 11番 中 川 ゆかり 君  | 12番 川 本 英 輔 君（議長） |

~~~~~○~~~~~

5. 欠席議員

なし

~~~~~○~~~~~

6. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

|         |           |
|---------|-----------|
| 町 長     | 吉 田 隆 行 君 |
| 副 町 長   | 岡 村 恒 君   |
| 技 監     | 鈴 木 晃 君   |
| 総 務 部 長 | 中 村 政 愛 君 |
| 総 務 課 長 | 西 谷 伸 治 君 |
| 企画財政課長  | 山 本 保 君   |
| 都市計画課長  | 川 上 宏 規 君 |

~~~~~○~~~~~

7. 本議会に職務のため出席した者の職氏名

| | |
|--------|-----------|
| 議会事務局長 | 西 谷 信 樹 君 |
| 主 事 | 貞 永 隆 佑 君 |

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

8. 議事日程

議事

- | | | |
|------|-------|-------------------------------|
| 日程第1 | | 「会議録署名議員の指名」 |
| 日程第2 | | 「会期の決定」 |
| 日程第3 | 議案第3号 | 「下水道管渠長寿命化（その3）工事請負契約の変更について」 |
| 日程第4 | 議案第4号 | 「令和3年度坂町下水道事業特別会計補正予算（第3号）」 |

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

9. 議事の内容

（開会 午前10時02分）

○議長（川本英輔議員） ただいまの出席議員は12名です。

会議成立のための定足数に達しておりますので、これより令和4年第2回坂町議会臨時会を開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

お諮りします。

議事事件説明のため、説明員の出席を求めたいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 異議なし、と認めます。

よって、直ちに出席を求めます。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～○～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（川本英輔議員） 暫時休憩いたします。

（休憩 午前10時03分）

（再開 午前10時04分）

○議長（川本英輔議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（川本英輔議員） 町長から特に発言を求められておりますので、発言を許します。

吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 皆さん、おはようございます。令和4年第2回坂町議会臨時会が開会されるに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、御多忙の中を御出席をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

このたびの臨時会では、2件の案件につきまして御審議をお願いをいたすものでございます。案件の内容につきましては、後ほど御説明をさせていただきたいと存じます。何とぞよろしく御審議をくださいまして、御承認を賜りますようお願いを申し上げまして、開会の御挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いたします。

○議長（川本英輔議員） これより、議事に入ります。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員には、坂町議会会議規則第125条の規定により、議長において、5番奥村富士雄議員、6番柚木 喬議員、7番出下 孝議員を指名いたします。

日程第2「会期の決定」を議題といたします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日にしたいと思います。

御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 異議なし、と認めます。

会期は本日1日に決定をいたしました。

日程第3 議案第3号「下水道管渠長寿命化（その3）工事請負契約の変更について」を議題にいたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 議案第3号「下水道管渠長寿命化（その3）工事請負契約の変更について」御説明を申し上げます。

本工事につきましては、令和3年議案第31号で議決をいただき、広島ガステク

ノ・サービス株式会社と5,390万円で契約を締結したところでございますが、工事の施工に当たり、下水道管の埋設位置の変更に伴い、各種数量等の変更が生じたので、契約金額を994万7,300円増額し、6,384万7,300円といたすものでございます。

変更の概要につきましては、都市計画課長から説明をさせますので、よろしく願いをいたします。

○議長（川本英輔議員） 川上都市計画課長。

○都市計画課長（川上宏規君） 下水道管渠長寿命化（その3）工事の変更概要について御説明させていただきます。

平成28年度に公共下水道施設の長寿命化計画、平成29年度にストックマネジメント計画を作成しており、この計画に基づき、平成30年度に実施設計、令和元年度から令和4年度までの4か年で管渠等の改築工事をする計画としております。

本工事につきましては、北新地二丁目の本管70メートルを改築するもので、本工事の施工に当たっては、地下に埋設してあるガス管及び電柱が工事の支障となることから、工事発注手続と並行して管理者協議を行っておりましたが、電柱移設による停電が与える社会的影響が大きいことから、支障移転は行わず、下水道埋設位置を歩道部から車道部に変更することといたしました。

この計画変更により本工事で増額が発生いたしますが、支障移転費用は発生しなくなるため、下水道本管の車道への迂回に伴う実質の増額はございません。

下水道本管迂回による増額内容といたしましては、車道部の施工に伴い、薬液注入工が夜間施工となったことから約690万円の増額、また、迂回に伴う管路延長が4メートルの増加、点検工3か所の追加、取付管1か所の追加、舗装工172平方メートルの増加、道路附属物の撤去復旧などにより約235万円の増額で、合わせて約925万円の増額でございます。

参考に、支障移転費用を試算した結果といたしましては、ガス管55メートルの移設費が約695万円、電柱を移設する費用が約250万円で、合計約945万円となり、車道への迂回に係る工事費約925万円に対し約20万円高額になります。

また、工事発注後、施工業者が管路内を確認したところ、汚物が詰まった状態であったため、有害ガスの発生を抑えることなど危険な状態を排除するため、管路内清掃を追加したことにより約70万円が増加したもので、本工事全体で994万7,300

0円の増額となったものでございます。

以上で、工事の変更概要について説明を終わります。

○議長（川本英輔議員） これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

瀧野議員。

○8番（瀧野純敏議員） ちょっとこの件で聞きたいんですけど、この件は最初に5,390万円ですか、受けたときの、このときは、これ、見積もりやったよね、特命の指名じゃなかったでしょ。3件か何かでやりましたよね。それでここが取ったんじゃないけど、そのときからやって、70メートルから74メートルになつとる。4メートルはしょうがない。けどこの中の夜間注入、さっき言いよっちゃったけど、最初に、夜間施工が入つとるのは、これは4メートルだけ、全部なのか、その辺を一遍聞かせてください。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

この4メートルの増額に伴うものは、車道へ迂回することにより、斜めの部分が生じてきますことから、4メートル増加したものでございます。

当初の計画では、歩道内での施工でございましたことから、昼間の施工としておりました。今回、車道へ迂回することにより、交通規制等かかってくるので、それをなるべく少なくするために夜間施工といたしたものでございます。

以上でございます。

○議長（川本英輔議員） 瀧野議員。

○8番（瀧野純敏議員） その辺の夜間施工を全部いうわけにいかんし、それぐらいは最初の見積りのときの予算内にあったはずなんですよね。

それともう一つ言いたいのは、今の電柱移転にしても、表にあるんだから、下でいじくることに対しても、それぐらいの附帯の、最終受けたときに、5,390万円を受けたときに、大小のゆとりは持つとるはずなんです。それか町があまりにも安い予算にしたのか、でも、あれから見たらそう安いことはないから、いいんじゃないと思うんじゃないけど、その辺を一遍聞かせてください。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

当初の計画から見込めなかったということですが、当初の計画では、別途、こういった支障移転費用について計画しておったものでございます。別途試算した結果が945万円かかるということでしたが、それを社会的影響が大きいことから車道へ迂回したということで、その支障移転費用がなくなって、工事のほうでその費用を使って、この工事へ追加したという形になっております。

以上でございます。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

柚木議員。

○6番（柚木 喬議員） 今のちょっと工事の内容で確認です。

薬液注入工、夜間施工のために増額690万円ということをおっしゃったんですが、これは以前の見積り段階では約285本ほど注入するんじゃないかというんですが、以前の見積もりの中には当然夜間施工は入ってるわけで、薬剤注入工については、これは何本増額になるんですか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

薬液注入工、ここの箇所につきましては、当初では歩道内であることから昼間施工ということにいたしております。今回、車道に迂回することで、交通規制等かかってきますので、夜間での施工といたしました。夜間施工にいたしましたものにつきましては、労務費が通常の1.7倍になります。そのことから増額が発生したものでございます。

薬液注入工の本数につきましては、17本ほど増えておまして、275本になっております。

以上でございます。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

中川議員。

○11番（中川ゆかり議員） 管内清掃を行うということなんですが、汚物が詰まった状態であるという原因はどのようなことだったんでしょうか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

今回の北新地内の下水道管の改築につきましては、管のたるみであるとか損傷、ひ

び割れ、逆勾配、そういった箇所を施工して、通常の勾配を保つように改築するような工事でございます。そういった今回の箇所につきましては逆勾配になっておりまして、以前の蓄積された汚物が逆勾配によって蓄積されたことによりまして、汚物がたまっていった。その汚物を取り除くために管渠の清掃を行ったものでございます。

~~~~~〇~~~~~

○議長（川本英輔議員） 暫時休憩いたします。

（休憩 午前10時17分）

（再開 午前10時18分）

○議長（川本英輔議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

~~~~~〇~~~~~

○議長（川本英輔議員） 中川議員。

○11番（中川ゆかり議員） 先ほどの答弁にありましたように、たるみとか勾配とか経年によって土地が沈んできたとかいうことが原因だということはよく分かりました。北新地の中にそういう箇所はすごく多いと思うんですけど、そういう調査みたいなものはしているのでしょうか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

そういった調査は、平成28年度の長寿命化計画策定時に管路全体につきましてカメラ等での調査であるとか、そういったものをして調査をしております。それに基づきまして、今回の約1キロメートルについて改築が必要ということで、4か年で改築するものでございます。

○議長（川本英輔議員） 中川議員。

○11番（中川ゆかり議員） 調査を行って、それは工事の前に清掃しなければいけないというような想定は今の答弁ではできたのではないかなというふうなことを今ちょっと感じました。

それと、今回のような勾配がついてるとかそういう箇所は、調査をされているのであったら、何か所ぐらいあったのでしょうか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） 何か所というようなことはちょっとあれなんですけど、北新地の全体につきましては2万メートル下水道管がございます。その中の975メ

ートルがそういった改築が必要となるものでございました。

以上です。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

柚木議員。

○6番（柚木 喬議員） 工期のことで伺います。

以前の情報では年末までに完成ということでやってたところ、結局、ある程度作業が進んできて、今回は1月末に一応完了すると。夜間施工するというので、一応、1月末ということが完了工期でよろしいのでしょうか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） はい。おっしゃるとおりでございまして、今回の迂回に伴う約1千万円の増額の工事内容の変更に伴いまして、1月31日までを工期延長しております。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

（「質疑なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 質疑なし、と認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

続いて、討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 討論なし、と認めます。

これをもって、討論を終結いたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） これより、議案第3号を採決します。

本案は原案のとおり可決することに、賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（川本英輔議員） 挙手全員です。

議案第3号は原案のとおり可決されました。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） 日程第4 議案第4号「令和3年度坂町下水道事業特別会計補正予算（第3号）」を議題にします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 議案第4号「令和3年度坂町下水道事業特別会計補正予算（第3号）」について、御説明を申し上げます。

今回の補正は、国の補正予算に伴う事業費の増により、既定の予算総額に4,500万円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億1,274万7千円といたすものでございます。

4ページの繰越明許費は、計上いたしております事業につきまして、本年度内の執行が困難なことから翌年度に繰り越すもので、地方債補正につきましては、事業の執行見込みに基づき変更を行うものでございます。

それでは、歳入歳出予算につきまして御説明を申し上げます。

まず、歳入で、9ページの国庫支出金、事業費国庫補助金では、公共下水道整備費を計上いたし、町債、事業債では、公共下水道整備債を計上いたしました。

次に、歳出につきまして、10ページの事業費、公共下水道整備費では、横浜排水区氾濫解析等業務として1,600万円、横浜排水区雨水排水路改良工事として2,900万円を計上いたしました。

御審議のほど、よろしく願いをいたします。

○議長（川本英輔議員） これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

中議員。

○10番（中 雅洋議員） まず、10ページの歳出のところなのですが、1,600万円、排水区氾濫解析等業務というふうに出ておるんですが、以前、産業文教委員会 のときに、一昨年くらいに低地帯の解析みたいなものを出してもらったんですが、あれで工事に入るのかなと思ったんだけど、またやっぱりこういったものの費用が1,600万円かかる。ちょっといろいろ全協のときにもらった資料を見よったんじゃけど、この辺まで範囲を広げたというふうに理解をしとるんですが、ちょっとこの辺の解析業務、結局、どんな内容で、大ざっぱでも結構です、この辺をちょっと説明していただきたいと。

○議長（川本英輔議員） 川上都市計画課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

以前、災害発生後に雨水排水路の能力検証業務といたしまして、町内の低地帯につきまして、どういった排水路の能力があるか、その部分についてどういった改修を行っていくかというようなことを検証しております。

それに基づきまして、令和2年度に産業建設課のほうで排水路改良を実施していく中で、優先順位を決めるなどを行いまして、どこの排水区から改良していくかということをして令和2年度にしております。

今回の氾濫解析等業務につきましては、今回、横浜排水区についてですが、実際の30年の豪雨災害のとき、あるいは、昨年7月の豪雨の折、30年確率で整備認可を取っておりますことから、そういった実際の雨をシミュレーションによって解析をしていき、どの水路が機能が少ないか、どういうふうに改良していかなくちゃいけないかということをしてシミュレーションをしていき、それに基づいて水路の改良位置を決定いたし、そこから工事にかかるものでございます。

今回の工事につきましては、産業建設課のほうで排水路の改良を4年度から計画しておりましたものを前倒しいたしまして実施していくということで、今回の補正がつきましたことから、発注していくようなことになろうかと思っております。

以上で終わります。

○議長（川本英輔議員） 中議員。

○10番（中 雅洋議員） ちょっと具体的に全協のほうでもらった資料で地図があるんですが、ちょっと説明は受けてないんで、この2枚目の地図の入った資料がありますよね。この中で①をやるんだと。②から⑥は詳細の設計業務に入るといふふうになっとるんですが、今回の4,500万円はこの①だけで、そういうふうに見とっていいんですか。それとも、②から⑥は設計業務済むから、今度、②から⑥をやるときには、解析業務というのは要らんのかな。それはどういうふうに理解すりゃええんですか。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

すみません、この図面で説明させていただきますと、横浜排水区氾濫解析業務というのは、この緑で大きく囲った横浜排水区の解析業務を行うものでございまして、工事につきましては、おっしゃったとおり①の箇所の赤い線で引っ張ったところを改良していきます。②から⑥を詳細設計としておりますが、そちらにつきましては、以前、検討業務の折に能力が不足しているという箇所を色づけしておりますが、シミュレー

シヨンの結果といたしまして、別途、必要になる箇所であるとか、ここはしなくても大丈夫であるとか、そういったことをシミュレーションによって解析した上で水路の改修を行っていくということになります。

ですから、今の②から⑥については、あくまでもそういった以前のデータに基づいて、ここは必要ではないかということで計上いたしております。

以上です。

○10番（中 雅洋議員） じゃあちょっと①番についてももう少しお聞きします、①の工事区間。

これ、排水路、今、300から300、500から500とか、私も昨日、ちょっと見て歩いてみたんですが、いろいろなやり方があると思うんですが、今、多分、片面のへこんだV字型いうのかな、ああいった水路も道路においてあるというような状況で、あそこを片側だけを水路、30センチぐらいのをやるんか、50センチのやるんか、あの長さでずっと片側だけ埋めて、もう一方の片側はそのままとか、ちょっと大まかにその辺のやり方いうのをお聞きしたいんですが。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

現在、そちらの保育所の裏の水路でございますが、断面は先ほど言った三方張りの水路でございます。一方は保育所側の擁壁が水路から立ち上がっておりますので、そちらのあたりは既存の方法で使う予定でございます。反対側の道路側の擁壁について、広げたりするような工事になってきます。それを重力式擁壁で水路の形状で三方張りにいたしまして、上はコンクリートの床版でふたがけをしていくというような工事内容になっております。

以上でございます。

○議長（川本英輔議員） 中議員。

○10番（中 雅洋議員） ごめん、ちょっとよう分からなかったんじゃけど、あそこの名前出させてもらうと、古屋敷呉服店とか、あそこ前の用排水路をどうするんかというのが聞きたかったんです。あそこじゃないの。これ、保育所言いよるけん、こっち側になるの。ちょっとそれを確認しとこう。ちょっとよう見えなかった。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） 今回、①で示しとる部分は、保育所のすぐ裏の大きい

水路でございます。断面が下が90センチ、上が1.35メートルある水路を改良していくものです。古屋敷さんのところにつきましては、断面が、今、足りとるということでございます。検証結果に基づきまして、そちらの全ての区域を検証していきますので、実際、その検証結果に基づいて改良していくものでございます。

以上です。

○議長（川本英輔議員） 中議員。

○10番（中 雅洋議員） あその前を例えば時間雨量で50ミリくらいのがだつと来ると、道路にざつとすぐたまる。これは水路がないからという判定じゃったような気がするんだけど、あとこれちょっとあそこだばかり思ったんじゃけど、ちょっと保育所の横のところは結構広いから、あそこまで流すための水路を今回やるんだらう思ったら、あっち側の、今、結構大きい水路があるよね、あつこの整備。ちょっとよう分からんの思ったんじゃが。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） 暫時休憩いたします。

（休憩 午前10時35分）

（再開 午前10時35分）

○議長（川本英輔議員） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

今回、①の水路、一番この辺りでは大きい水路でございますが、こちらのまず下流から整備していくことが必要になってきます。この1番につきましては、先ほど申しました箇所水路等もこの1番の水路へ流入してきますので、こちらを大きくすることで、流れやすくなるというふうに判断しております。

シミュレーション結果にも基づきまして、そういった箇所を全部チェックいたしまして、改良が必要なところは改良を行っていくという形にしておりますので、よろしくをお願いいたします。

○議長（川本英輔議員） 中議員。

○10番（中 雅洋議員） 今回の工事、それで説明もなかったし、そればかりだ思い込んだんじゃけど、ただ、あそこをするのはいいんだけど、これ②から⑥でま

た入っていないよね、あそこの前が。本当はここで聞いたかったのは、古屋敷の前の水路を例えば30センチとかでだっとやるんかのと。あとそれにしちゃ、保育所のほうへ流す道、あっこを整備せんのじゃのいうちょっと疑問があったんですよ。

ただ、今回、下じゃいうから、保育所の前のほうじゃいうから、あそこは縦は要らんのじゃの思いながら、ただ、②から⑥を解析してあるのに、あっこの前が残ったまんまになっとる。あそこはどういうふうにするのかな、じゃあ。このまま無視じゃないけど、流れたところへ行くのはええんじゃけど、そこへ行く道がないんじゃけん、水路が、私は先こっちが必要なような気がするんだけど、どういう順番であとやっていくのかな思って、お聞きします。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） 以前に30年の災害が発生した後に検証した折に、こういった色をつけている箇所が断面が少ないというような結果が出ております。先ほど議員さんが申しました箇所については、その雨量に対しまして断面はあるという検証結果になっております。要は1番の水路が能力が少ないために浸水したものと思われれます。そこらはシミュレーション等を今からさせていただいて、必要であれば改修していくという形になると思います。よろしくお願いたします。

○議長（川本英輔議員） 中議員。

○10番（中 雅洋議員） 今の答弁じゃけど、時間雨量50ミリが来ると、あそこへまず道路へたまらんよ、道路へばっと。周りがまだそういう対策ができてないから、自宅に入るのを、例えば古屋敷だったらお客さんが入りやすいように地上げせんのよね、つまりいちゃいけんけん。だから余計条件が悪いんだけど、例えばその降った雨がどこへ行くんか思ったら、ほとんど水路らしくないんじゃが、ただ、面的な絵とかよう分からんの思って、それと保育所へ流れる水路というのがまともにないんよね。小っちゃいのがあったり、個人のあれがあったりするから、あの量が来たら、絶対はけんよ、あそこは。だから一気にそれがたまる。時間雨量50いうたら結構降るけん、それが一気にたまってしまう。あっちのほうから、例えば折出美容院のほうからもちよっと道路がこうなっとるのかな、真ん中へちよっと集まってくるんよ、児童館のほうへ向いて。あそこらを見て、水路がやっぱりしっかりしてないんよね。ほいじゃけん、あそこが一番で、奥のほうはある程度受け入れるあれはあったような気がするんじゃけど、ちょっとその辺はこの解析業務、私も素人じゃけど、見た目で言いよるん

じゃけど、何かちょっと違うような気がするんじゃけどね、どんなですか。

○議長（川本英輔議員） 吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 私も、今、議員がおっしゃるところはよく存じております。一応、技術的な面からすると、今、都市計画課長が説明したような工事手順でいくことがいいんじゃないかという、コンサルからもそういう提案を受けておるわけでありまして、実情をしっかりと一回確認をしまして、あそこに、今、おっしゃったように留守家庭児童会の施設もございまして、またそういう面で子供に対する配慮も必要になってくると思いますので、よくよく調査をしまして、またそういう大きな雨が降ったときに対応できるようなことを踏まえて、ちょっと検討させてください。お願いします。

○議長（川本英輔議員） 奥村議員。

○5番（奥村富士雄議員） 今のちょっと図面で言えば1番のところは補正でこのたびということなんじゃけども、ほかの部分については、これは令和4年度の工事になるんですかね。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

まずはシミュレーション、氾濫解析業務をいたしまして、そういった箇所を抽出いたしまして、その水路について詳細などといった断面にしていくかということを検討する業務を令和4年度にこの補正でやっていく。実際の工事につきましては、5年度から実施いたすようなことになる予定でございます。

以上です。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

柚木議員。

○6番（柚木 喬議員） 今、町長も言われたんですが、つまり30年の豪雨を対象にしてるような感じがするんですが、実は令和3年7月が最近の浸水情報がありますね。床下浸水が13戸ありましたよね。それらを例えばこういうようなところにポイントしながら、あれはたしか時間雨量65ミリが降ったわけですから、そこをこういうふうにポイントしながら、それを重点的にやはりもう一回シミュレーションするような形を依頼したいんですが、その辺は町長が言われるとおりですかね。

いずれにしても最新の情報、令和3年の7月、このことをやっぱり重点に考えたほ

うがいいんじゃないかと思うということです。

○議長（川本英輔議員） 川上課長。

○都市計画課長（川上宏規君） お答えいたします。

先ほども申し上げさせていただいたんですが、平成30年の豪雨、令和3年の豪雨、そこらあたりもシミュレーションをかける予定としております。この排水区の計画確率年である30年確率についても検証していくという形を取ろうとしております。よろしく願いいたします。

○議長（川本英輔議員） 吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 昨年度の豪雨のときに、排水能力が足らなかったということがありますけど、これはポンプ場の機能も若干いろいろ問題がございまして、これも議会のほうに御報告をさせていただきましたけども、そこらが改善をされましたんで、また状況はかなり変わってくるんだというふうに思いますけども、先ほど答弁させていただきましたように、しっかり実情を見極めながら、やらなければならない整備はしていきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（川本英輔議員） ほかにありませんか。

（「質疑なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 質疑なし、と認めます。

これをもって、質疑を終結いたします。

続いて、討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」という者あり）

○議長（川本英輔議員） 討論なし、と認めます。

これをもって、討論を終結いたします。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） これから、議案第4号を採決します。

本案は原案のとおり決定することに、賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

○議長（川本英輔議員） 挙手全員です。

議案第4号は原案のとおり可決されました。

~~~~~○~~~~~

○議長（川本英輔議員） 以上で、本日の日程は全て終了しました。

最後に、町長から発言を求められております。

吉田町長。

○町長（吉田隆行君） 令和4年第2回坂町議会臨時会が閉会されるに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本臨時会にお願いをいたしました案件につきましては、いずれも原案のとおり御決定をいただき、ありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

全国的にオミクロン株の感染者数が急激に増加をしておりますが、継続して感染症対策を講じ、早期の終息に向けてこれからも努力をしてまいり所存でございます。

皆様方におかれましては御自愛をくださいますとともに、これからもなお一層の御理解、御協力を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（川本英輔議員） これにて、令和4年第2回坂町議会臨時会を閉会いたします。

御苦労さまです。

○議会事務局長（西谷信樹君） 皆様、御起立をお願いいたします。

（起立）

○議会事務局長（西谷信樹君） 互礼。

（閉会 午前10時46分）